

# 誇れる自分に～Be proud of yourself～

神奈川県立橋本高等学校のホームページにアクセスしていただきありがとうございます。  
校長の春日彰です。今年で3年目となります。よろしくお願いいたします。



本校は、昭和53年(1978年)に開校し、今年で47年目を迎える全日制普通科の学校です。JR横浜線・相模線、京王相模原線が交差する橋本駅から徒歩15分と交通便利な場所にあるにも関わらず、遠くには大山や丹沢、多摩地区の山々を望むことができます。数年後にはリニア新幹線の神奈川県駅(仮称)も開業予定で、現在、橋本駅前が再開発されています。

本校には、大きな三つの役割があります。一つ目は、「インクルーシブ教育実践推進校」の指定です。「共生社会の実現を目指し、知的障がいのある生徒が共に学び、相互理解を深める教育を推進

し、『インクルーシブな学校』づくりに取り組む。」というミッションを与えられています。現在、1～3年生で44名の障がいのある生徒と一緒に学んでいます(4月1日時点)。二つ目は、在県外国人等特別募集制度による生徒の入学です。様々な国籍の生徒たち28名が日本語の支援を受けながら共に学んでいます。そして三つ目は相模原養護学校の分教室の設置です。

このように、人種・民族・宗教・国や性の違い、障がいのあるなし等の「多様性」を認め、「共生」していくことが、本校が大切にしている風土です。こうした風土をはぐくむために、本校では、

- 一人ひとりを大切にしていける教育を実践する。
- 障がいがある者にとっては必要な支援、障害のない者にとってはあったら便利な支援を行う。(ユニバーサルデザイン化された教育)

ことを常に念頭に置き、日々教育の実践を行っています。

本校の教育方針(育てたい生徒像)は、

- 「Challenge(挑戦)  
…常に目標を高く掲げ、自己啓発に努め、自らの将来を切り開く力を培う。」
- 「Independence(自主・自立)  
…民主社会の担い手として、優れた判断力と強い責任感を備えた人間を育てる。」
- 「Global(国際理解教育の推進)  
…国際社会の一員としての自覚を持ち、自国の文化や習慣を大切にすると同時に、他国の文化や習慣を理解できる人間を育てる。

の三つです。常に広い世界に視野を広げ(Global)、失敗を恐れず挑戦し続ける(Challenge)そんな生き方(Independence)を身につけてほしいと願っています。

橋本高校はこれからも「インクルージョン（共生）」や「ダイバシティ（多様性）」の視点をもって、どこよりも「一人ひとりを大切にしていく教育」を目指し、学校づくりを推進していきます。そして、生徒の皆さんが安全・安心して過ごせるように、また勉強や部活動を充実させ、楽しい学校生活を送れるように職員一同、支援していくことをお約束いたします。

昨年度は「行ける進路より行きたい進路」を目指そうと生徒には伝え続けてきました。安易に今の成績で合格できそうな大学や専門学校の総合型入試や推薦入試を選ぶのではなく、自分が本当に行きたい進路、それをかなえるための学校選びをすること、そのために日頃から学習習慣を身につけ、一般受験で通用する基礎学力を培うことを促してきました。その結果、今年の44期生は100名を超す生徒が一般受験に挑戦し、早稲田、慶応には複数の合格者を出し、MARCHクラスにはのべ40名に近い合格者を出すなど、ここ数年では考えられないくらいの目覚ましい成果を生みました。橋本高校の生徒には、努力すればこうした力を発揮できるのだということを自覚してほしいと思います。

そして今年度はさらに、「誇れる自分に～Be proud of yourself～」をスローガンに教育活動をすすめてまいります。このような基礎学力の定着を図りながら、社会に目を向けて、そこから自らの問いを立て、それを解決することで社会貢献をするところに生きがいを見だし、将来の目標を見定めていく。周りの仲間と協働しながら、そうした「誇れる自分づくり」に取り組んでほしいと願っています。